

広がる学習支援の輪

シルバー世代と子どもたちとの楽しい出会い 理事・中沢 保夫

グループ わ「子どもたちの学習支援活動」によせて

シルバーカレッジ事務局

平成17年度にグループ わ が立ち上げられた「子どもたちの学習支援活動」は今年で2年目を迎え、着実に進展しておられますこと、心より喜び申し上げます。

グループ わ がこのような活動をはじめられた背景には、今日の子どもの育ちや生活の荒廃を鑑みられたのではないかと思います。教育界の見直しや家庭の教育力の向上が叫ばれていますが、子どもたちの学力低下、不登校、行為障害等々の荒れた現象の根底には、社会の大きな変化があります。

皆様方シルバー世代が育った時代は、物質的には貧しい生活ではあったものの生活環境や、家族・地域の人的環境は、子どもたちの成長には実に適したものでした。

ところが現在は、文部科学省が「子どもの生活リズム向上全国フォーラム」を展開し「早寝早起き朝ごはん運動」を推進しなければならない社会状況です。また、地域力を高めようとする施策を打ち出すなど、人と人とのかわりもまた、敢えて創り出さなければならない時代です。

そのような時代だからこそ、これからを担う子どもたちと、ゆったりとした温かい時間を共有できる「子どもたちの学習支援活動」は子どもたちにとっても、シルバー世代にとっても大切な取り組みだと考えます。

特に最近、特別支援教育の補助を要請してくる学校が多いと聞いています。特別支援を必要とする子どもたちは、その生活に寄り添ってあげるだけで、温かい人の思いをしっかりと受け止め、安心して教育を受けることができるのです。

今後、グループ わ の「子どもたちの学習支援活動」がさらに発展し、シルバー世代と子どもたちとの楽しい出会いが、神戸のあちこちの小学校で広まっていくことを願っています。

学習支援活動に はじめて参加して

音10 - 川合 真人



この春から、こうべ小学校6年生の算数補助（シルバーサポーター）活動をはじめました。子どもに教えることは、学生時代の家庭教師以来45年振りです。現場で先生による実際の授業に参画して、分数計算等のサポートをしています。

隔週で、1回3

時限（3クラス各1時限）渡辺寛治さん（国際10期）と2人でお手伝いしています。算数の得意な子と、苦手

の子の能力の差は大きく、苦手な子には、問題の意味が理解できないために解けない子や、九九等の計算が出来ない子もいます。この辺りを判断して解き方のヒントを与え、出来るだけ自分で考えて解いてもらうようなサポートを心がけています。

何度も解けなかった子が、やり方を理解して突然「ああそうか」と声を出し、自力で解き始めるのを目にするのは、こちらの最も嬉しい時です。褒めると目が輝きます。これで自信が持て、算数への興味も湧けばしめたものです。今は子ども達との新鮮な交流を楽しんでいます。

第4回学習支援活動

登録者の集いのご案内

日時：平成18年8月22日（火）10:00～12:00

場所：神戸市シルバーカレッジ2F学習室1～4

主な議題：

- (1)平成18年度「子どもたちの学習支援活動」の現況報告
- (2)支援活動の進め方についてご相談
- (3)数グループにわかれての情報交換など

広がる地域交流活動

小学生見守りやクリーン作戦

神戸市シルバーカレッジの全校生による地域交流会が6月20日（火）から3日間、カレッジホールで開かれました。3年目を迎えたこの活動は全市域に広がりを見せ、今年も64グループに分かれて、小学生の見守り活動や地域の駅周辺、河川のクリーン作戦が展開されることになりました。

「地域に入って活動するきっかけづくりになるような授業をしてほしい」との学生からの要望で、さる16年度から共通授業としてはじめたものです。

20日は北、兵庫区、21日は東灘、中央、長田、西区、22日は垂水、須磨区に分かれて全校生1、100余

名が受講しました。

説明会では神戸市市民参画推進局市民活動支援課の上田課長、地域力強化推進課の米山主査、同市地球環境課の橋本主査から地域交流活動の参考となる「協働と参画による地域力強化プラン」や「地域のイベント・サポート隊“かえっこバザール”の開催」が紹介されました。またグループ わ からは



地域交流活動の説明会に参加した在校生

中沢理事、小林勝氏（国11）が「子どもたちの学習支援活動の現況と支援登録者の勧誘について」の説明しました。

午後からは各区ごとの地域交流グループに分かれて、昨年までの活動内容について説明を聞いたあと、今後の具体的な活動内容や取り組みについて打ち合わせ、各グループはこの夏休みから交流活動に入りました。